

2022年度 紙パックリサイクル促進 意見交換会

2022年度 紙パックリサイクル にかかわる取組状況

- 1) 容環協の概要、組織構成、PLAN2025行動計画
- 2) 各専門委員会の2022年度の取り組み

2023年2月28日（火）

主催：全国牛乳容器環境協議会



「全国牛乳**容器環境**協議会」について

容環協は、乳業メーカーと紙容器メーカーが協力し、牛乳等に供される飲料用紙容器（紙パック）のリサイクルと環境保全に取り組んでいる組織です。

＜設立＞ 1992年8月31日

＜事業＞ 環境保全、再資源化など環境問題の啓発活動への協力
牛乳等の容器の環境問題に関する知識の普及
牛乳等の紙容器再資源化運動への協力
牛乳等の容器の環境問題に関する調査、研究、支援
その他上記の課題達成に必要な事業

＜主な活動＞ 飲料用紙容器の環境に関わる普及啓発情報提供（消費者、市町村、学校他）
飲料用紙容器の再資源化運動への協力（市民団体、福祉施設、学校、流通他）
牛乳等紙容器の環境に関わる技術調査
国内外視察（リサイクル政策、森林管理、再生紙メーカー）、海外文献紹介
飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査

＜事務所＞ 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-19 乳業会館内

「全国牛乳**容器環境**協議会」について

＜会員・賛助会員＞

紙パックを使用している乳業メーカー	112社
紙パックを製造している紙容器メーカー	7社
乳業協会やJミルクなどの乳業団体	3団体
古紙回収業者や再生紙メーカー	13社

計135社・団体（2023年1月現在）

一般社団法人日本乳業協会の環境部が
容環協の事務局を務めています。

プラン2025 飲料用紙パック リサイクル行動計画

紙パックの回収率とリサイクル率の向上に向けて、2021年に「**PLAN2025 飲料用紙パックリサイクル行動計画**」を策定し、5つの体系に基づくさまざまな取り組みを進めています。

策定: 2021年4月

目的: 紙パックの回収率50%を目標とする諸活動を通して
持続可能な社会づくりに貢献する

体系: (1) 紙パックリサイクルの現状把握、ステークホルダーとのコミュニケーション
(2) 回収率向上のための啓発
(3) 紙パックの回収・再生インフラの整備支援
(4) 次世代を担う子供たちの環境マインド向上
(5) 活動への理解促進、活動の公表と評価

プラン2025 飲料用紙パック リサイクル行動計画

紙パックを通じて持続可能な社会づくりに貢献する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



回収率目標
50%

紙パックリサイクルの現状把握、
ステークホルダーとのコミュニケーション

回収率向上のための啓発

紙パックの回収・
再生インフラの整備支援

次世代を担う子どもたちの
環境マインド向上

5つの体系を廻して
目的を達成する！

活動への理解促進、活動の公表と評価

策定：2021年4月 5

「全国牛乳容器環境協議会」について

【総務委員会】

回収率向上に向けた調査と活動

【調査・解析】

- ① リサイクル基本調査、補完調査
- ② 消費者の意識調査
- ③ 組成分析調査、他

【ステークホルダーとのコミュニケーション】

- ① 地域会議
- ② 意見交換会、他

【イベント委員会】

イベントや講習会を通じた啓発

【環境やSGDsイベント出展】

- ① SDGs Week EXPO エコプロ等の出展
- ② 地域・店頭イベントの出展や支援

【学校や教育現場での啓発活動】

- ① 小・中学校での出前授業
- ② リサイクル講習会
- ③ 牛乳紙パックで遊ぶ学ぶコンクール支援

【広報委員会】

さまざま媒体を通じた広報活動

【各種広報活動と情報発信】

- ① ホームページの管理と更新た情報発信
- ② 啓発資料、冊子、自治体広告、各種アメニティ、WebやSNS記事等の作成
- ③ 上記ツールを用いた環境メッセージ発信

【活動の公表】

- ① 年次報告書の作成と配布

【支部組織委員会】

地域支部組織づくりと活性化

【地域との連携推進】

- ① 地域環境リーダーの発掘と支援
- ② 地域環境イベントの支援
- ③ 啓発ツール整備、Webでの事例紹介

【組織ガバナンスの強化】

- ① 会員アンケートの実施と活動報告
- ② 会員企業の環境意識の向上

【企画運営

紙パックリサイクル
促進に向けた組織
横断的情報共有

委員会】

プラン2025に基づく2022年度の主な活動

(1) 紙パックリサイクルの現状把握、ステークホルダーとのコミュニケーション

- ・ 基本調査、地域毎の回収力分析、古紙業者の意向調査を実施
- ・ 一都六県を対象とした消費者のリサイクル意識のアンケート調査を実施
- ・ 古紙原料問屋や再生紙メーカーの訪問、意見交換を実施
- ・ 容環協の専門委員に向けた紙パック回収ややり方にかかわる勉強会を実施
- ・ 定期的に意見交換会、地域会議を開催

(2) 回収率向上のための啓発

- ・ 日本経済新聞社主催のSDGs Week EXPO エコプロ2022へ出展
- ・ SDGsの視点から、パネル、小冊子、ノートなどの啓発資料を刷新・作成
- ・ 対象層毎の入口を設けてホームページを改訂、適宜、新たな情報を発信
- ・ WebやSNSを活用したタイアップ広告を実施、4回で約150万の閲覧数を記録
- ・ SRA-Jと連携し、業務用領域の紙パック回収の取り組みを開始
- ・ 自治体ごみ袋への啓発広告、回収ボックス配布、地域イベント支援などを継続

プラン2025に基づく2022年度の主な活動

(3) 紙パックの回収・再生インフラの整備支援

- ・ 地域毎の回収力分析調査で各地域や自治体の課題を抽出
- ・ 地域会議、意見交換会を開催
- ・ ラミネートポリエチレンのマテリアルサイクルやケミカルサイクルの情報収集等
- ・ 再生パルプの紙以外の製品（布や繊維など）への調査と応用を推進
- ・ 店頭回収、拠点回収、行政回収などをまとめたマップ作成を検討

(4) 次世代を担う子供たちの環境マインド向上

- ・ 牛乳紙パックで遊ぶ学ぶコンクール協賛（作品募集、審査、エコプロ展示、表彰式）
- ・ 全国の小学校に対して紙パックリサイクルの現状についてのアンケート調査を実施
- ・ エコプロ2022で環境学習ページを設定、児童への説明と啓発アメニティ配布を実施
- ・ 自治体、市民団体、学校と連携し、出前授業を実施（川崎市3校、横浜市2校）

(5) 活動への理解促進、活動の公表と評価

- ・ 2022年度概要版「2021年度リサイクルの実態」を発行（2022年12月）
- ・ 1年間の活動トピックスを総括した年次報告書を発行（2023年1月）
- ・ これらの資料を行政や各ステークホルダーの方々へ配布（2023年2月）

プラン2025に基づく2022年度の主な活動

各専門委員会の2022年度
の取り組み <トピックス>

【総務委員会】

紙パックリサイクルの実態についての基本調査 調査結果抜粋 2021年度 紙パック回収率

2021年度 回収率

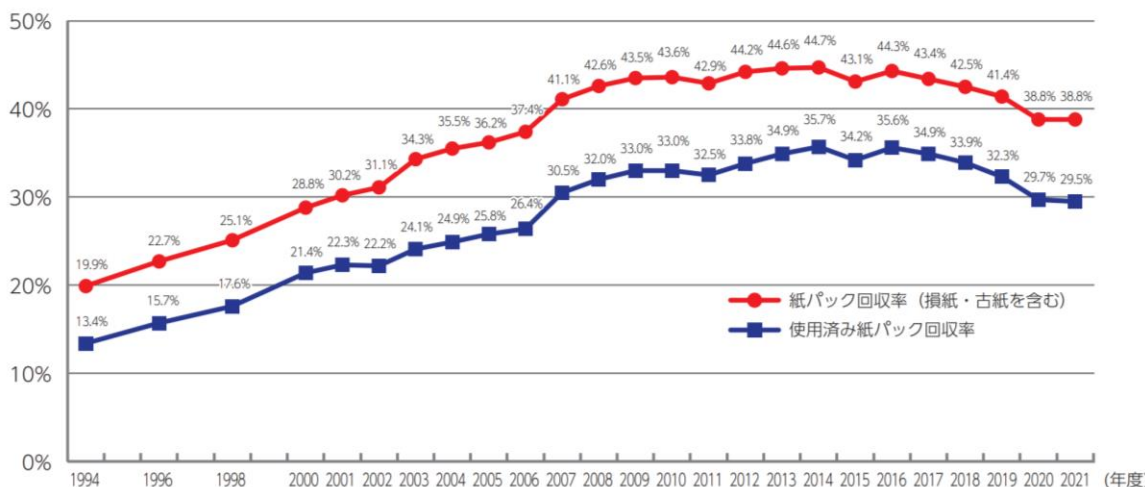
(1) 紙パック回収率（損紙・古紙を含む） **38.8%**（2020年度 38.8%）
＝国内紙パック回収量（82.0千トン）／飲料用紙パック原紙使用量（211.2千トン）

(2) 使用済み紙パック回収率 **29.5%**（2020年度 29.7%）
＝使用済み紙パック回収量（54.1千トン）／飲料用紙パック出荷量（183.1千トン）

※

他の古紙と一緒に回収されて選別資源化されたもの、「まな板」などにリユースされた後に廃棄されたものを考慮すると、それぞれ **42.0%**、**32.7%**。

●紙パック回収率の推移



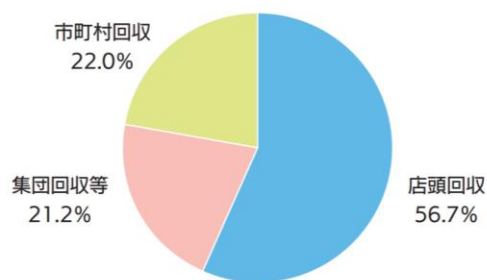
2022年概要版
飲料用紙容器（紙パック）リサイクル
の現状と動向に関する基本調査
2021年度リサイクルの実態

【総務委員会】

紙パックリサイクルの実態についての基本調査

調査結果抜粋 2021年度 家庭系紙パックの回収

●2021年度の家系紙パック回収の内訳



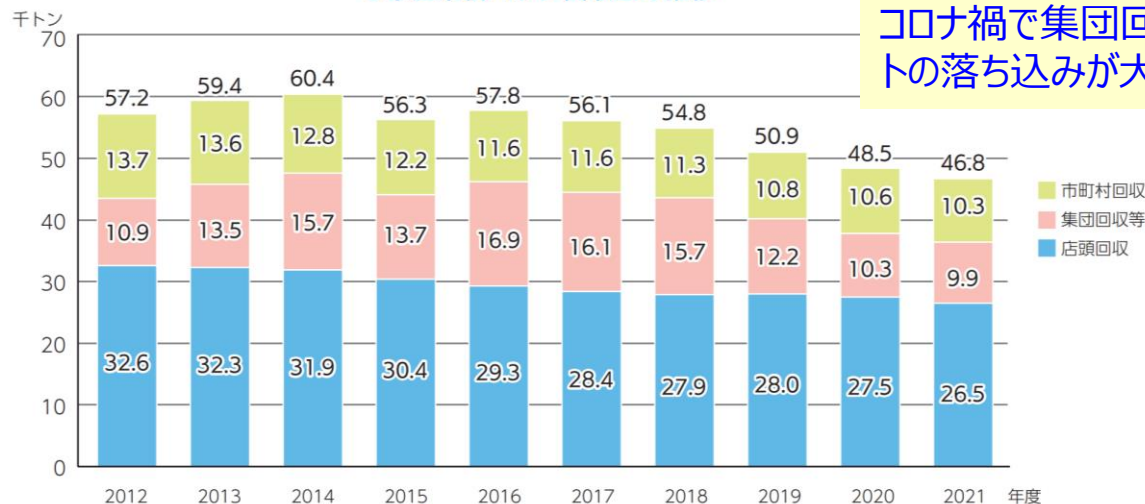
消費者向け飲料用紙パック出荷量は減少している。
(2016年度192.6千トン→2021年度183.1千トン)

この要因もあって家庭系紙パックの回収量は微減傾向にあり、2021年度の回収量は約46.8千トン。

主要回収ルートのうち、半数強の56.7%は店頭回収。但し、回収量は微減傾向（2016年比 ▲2.8千トン）。

コロナ禍で集団回収を抑制・中断する動きもあり、このルートの落ち込みが大きい（2016年比 ▲7.0千トン）。

●家庭系紙パック回収量の推移



2022年概要版
飲料用紙容器（紙パック）リサイクル
の現状と動向に関する基本調査
2021年度リサイクルの実態

【総務委員会】

紙パックリサイクルの実態についての基本調査 他の容器包装と比較した紙パックのリサイクル率

容器包装の素材	指標	2025年度目標 (基準年度：2004年度)	2021年度実績
ガラスびん	リサイクル率	70%以上	73.4%
PETボトル		85%以上	86.0%
プラスチック容器包装		60%以上 (46% ※ ¹)	66.4% (46.7%)
スチール缶		93%以上 ※ ²	93.1%
アルミ缶		92%以上	96.6%
紙製容器包装		28%以上 ※ ³	23.6%
飲料用紙容器 (紙パック)	回収率	50%以上	38.8% (42.0% ※ ⁴)
段ボール		95%以上	96.7%

※¹ 2021年度より算定方法を見直し (カッコ内は従来の算定方式)

※² 2021年に90%から上方修正 ※³ 2021年度より算定方法を見直し

※⁴ 「他の古紙に合わせて回収」「リユース後に廃棄」を考慮した算定値

3R推進団体連絡会

2021年度実績のフォローアップ報告書

【総務委員会】

紙パックリサイクルの実態についての基本調査 2022年概要版 2021年度 紙パックリサイクルの実態を発行



2022年概要版
飲料用紙容器(紙パック)リサイクルの
現状と動向に関する基本調査

2021年度
リサイクルの実態

- 飲料用紙パックの回収率は前年度と同じ 38.8%でした
- 出荷量、家庭系・事業系回収量ともに前年度より減少しました
- 市町村回収や集団回収の古紙の取引のなかには値上がりしているものがあります

(掲載：各関係)

全国牛乳容器環境協議会
COMMITTEE FOR MILK CONTAINER ENVIRONMENTAL ISSUES

2022年12月 | 本概要版は、アルミ缶を利用していない飲料用紙容器を対象としています



2021年度のマテリアルフローと回収率

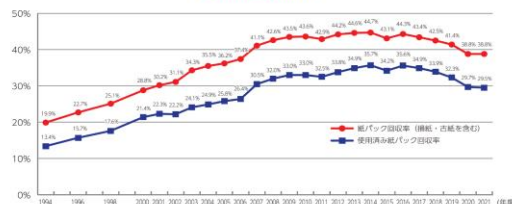
2021年度の飲料用紙パック原紙使用量は前年度から5.7千トン減少した211.2千トンでした。また、飲料メーカーを通して、国内市場に出荷された飲料用紙パックは5.6千トン減少した183.1千トンでした。出荷量の内訳は、一般家庭等に向けた家庭系が160.9千トン、学校給食や飲食店等に向けた事業系が22.2千トンでした。

国内紙パック回収量は82.0千トンで、前年度から2.1千トン減少しました。このうち、使用済み紙パック回収量は、スーパーマーケット等での店頭回収が減少したり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学乳パックのリサイクルを一時的に中止する学校があったことなどから、前年度より2.0千トン減少した54.1千トンになりました。産業損紙・古紙回収量は前年度より0.1千トン少ない27.9千トンでした。これらの結果、「紙パック回収率(損紙・古紙を含む)」は、前年度と変わらず38.8%でした。「使用済み紙パック回収率」は、0.2ポイント低下して29.5%になりました。

2021年度 回収率

- 紙パック回収率(損紙・古紙を含む) **38.8%** (2020年度 38.8%)
= 国内紙パック回収量 (82.0千トン) / 飲料用紙パック原紙使用量 (211.2千トン)
- 使用済み紙パック回収率 **29.5%** (2020年度 29.7%)
= 使用済み紙パック回収量 (54.1千トン) / 飲料用紙パック出荷量 (183.1千トン)

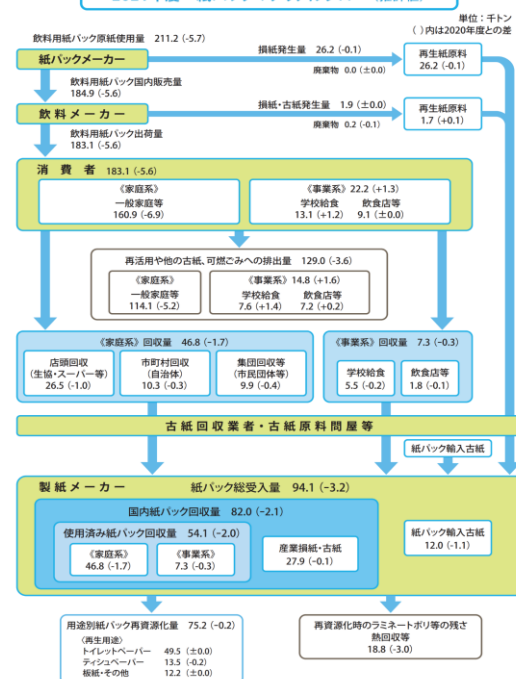
●紙パック回収率の推移



(参考) 使用済み紙パックのうち、他の古紙として回収された紙パックとして選別・資源化されながらも回収量に計上されないものが2021年度は約2.6千トン、産業系から回収されたものを約9.7千トンあると推計されています。仮に前者を分子に加え、後者を分母から削除したときの回収率は次のようになります。

紙パック回収率(損紙・古紙を含む) : $(82.0 \text{ 千トン} + 2.6 \text{ 千トン}) / (211.2 \text{ 千トン} - 9.7 \text{ 千トン}) = 42.0\%$
使用済み紙パック回収率 : $(54.1 \text{ 千トン} + 2.6 \text{ 千トン}) / (183.1 \text{ 千トン} - 9.7 \text{ 千トン}) = 32.7\%$

2021年度 紙パックマテリアルフロー (推計値)



※原紙使用量は、飲料メーカー等の海外から輸入した紙パック5.7千トンを含んでいます。
※紙パックメーカーが海外に輸出した紙パックはマテリアルフローの対象外としています。
※他に、家庭で再資源後に産業系に回収される紙パックが約9.7千トンある。
※他の古紙で回収・分別される紙パックは回収量に計上していない紙パックが約2.6千トンある。
※回収量に入っていないため、合計と一致しない箇所があります。

【総務委員会】

意見交換会と地域会議の開催



2022年3月1日 意見交換会



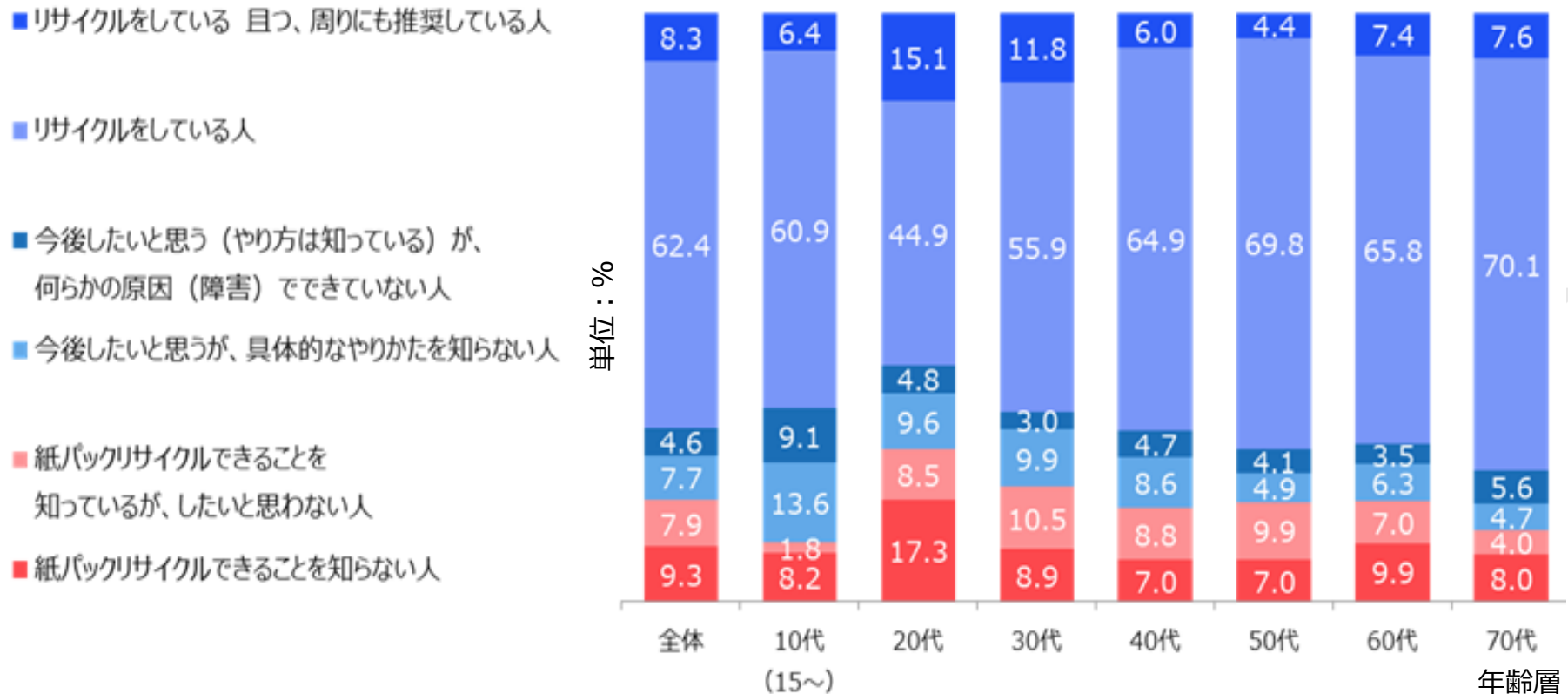
2023年2月10日 地域会議in千葉



省庁、自治体、古紙問屋・再生紙メーカー、乳業メーカー、紙容器メーカー、市民団体などにご出席頂き、定期的に意見交換会や地域会議を開催し、紙パック回収にかかわる課題の抽出と解決に向けた情報や意見の交換を行っています。

【総務委員会】

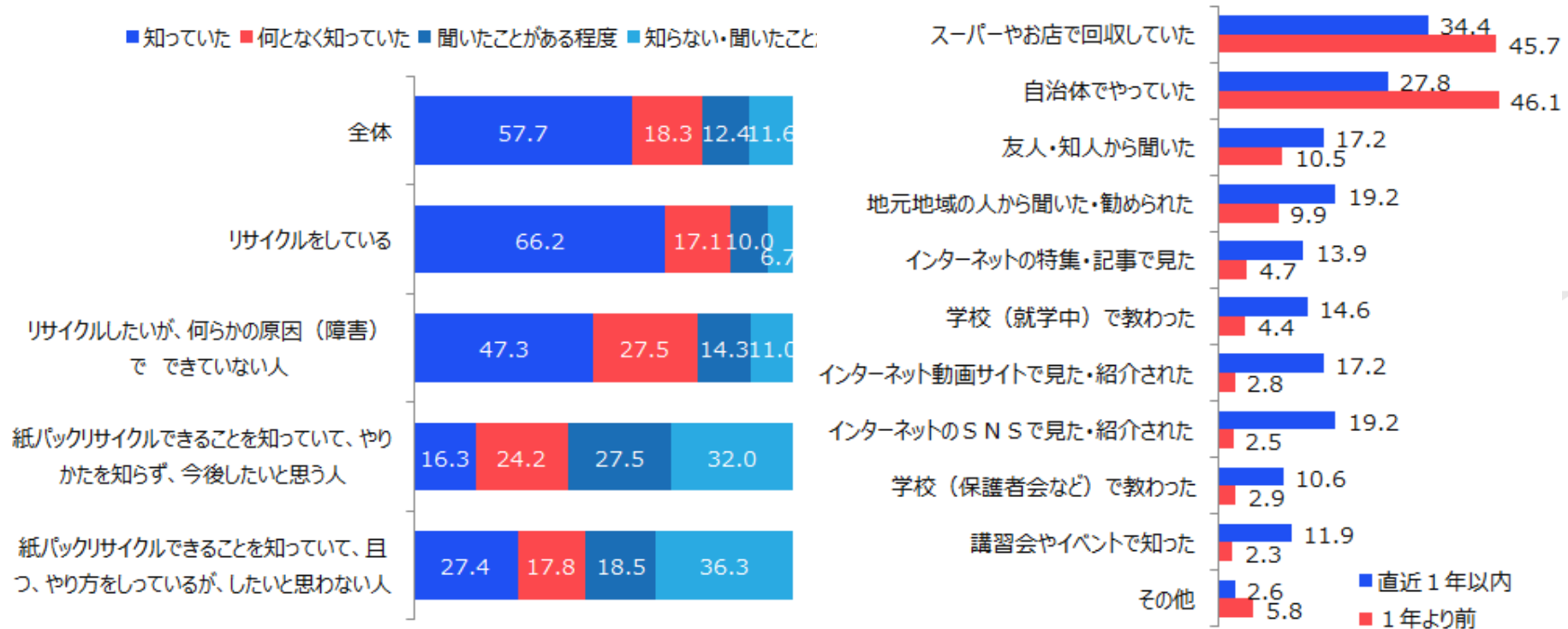
紙パックリサイクル行動に関するアンケート調査



月に1回以上紙パックを購入する関東1都6県の男女2,000人を対象として、インターネットによってリサイクル行動に関するアンケート調査を行いました。全体で約7割の方々から「リサイクルしている」とご回答頂き、意識が高くなっている結果が得られました。

【総務委員会】

紙パックリサイクル行動に関するアンケート調査



雑がみ、雑誌、新聞とは分けて出す必要性の認知

紙パックリサイクルを始めたきっかけ

紙を分別することの必要性、リサイクルを始めたきっかけを調査しました。リサイクルしている人でも分別を意識していない人が一定数存在し、更なる啓発の必要性を感じています。直近1年以内にリサイクル始めた人は、Web、動画、SNSがきっかけとなっているケースが目立ちました。

【総務委員会】

古紙問屋や再生紙メーカーとのコミュニケーション



古紙問屋や再生紙メーカーとのコミュニケーションを深めるために、意見交換会、ヒアリング、見学会などを実施しています。

【総務委員会】

回収された紙資源の組成分析調査



他団体と連携し、定期的に「紙パック」として収集された資源物への異物の混入量（食品トレイや缶など）やアルミ付き紙パックの混入量、「雑紙」として収集された中に混じっている紙パックの混入量などを分析調査しています。

※ 2022年度は1月、3月に実施予定です。

【支部組織委員会】

SRA-Jと連携した業務用領域での紙パック回収の取り組み

<総括>

2022年度より、SRA-J(一般社団法人 日本サステイナブル・レストラン協会)と連携し、これまではあまり対応が進んでいなかったレストランをはじめとした業務用領域での紙パック回収の取り組みを開始し、SRA-J加盟レストランに加えて、行政や商工会への働きかけを行いました。

<取組内容>

- ・ 兵庫県芦屋市、東京都練馬区、東大阪市で実証実験を実施
- ・ 古紙問屋の山田洋治商店と容環協が登壇するウェビナーを実施
- ・ FOOD MADE GOOD Japan Awards 2022に協賛
- ・ 容環協賞「サーキュラーエコノミー賞」をボッテガ・ブルー(芦屋市)へ授与
- ・ 商工会や市役所への働きかけを継続

【支部組織委員会】

SRA-Jと連携した業務用領域での紙パック回収の取り組み



レストランを始めとした業務用領域での紙パック回収について、一般社団法人日本サステイナブル・レストラン協会と連携し、実証実験、ウェビナーの開催、行政や商工会への働きかけ、イベント協賛を行っています。

【支部組織委員会】

環境やリサイクルに取り組んでいる支部組織の支援



2022年SDG s 体験型環境学習
(京都丹波スマート環境学習)



2022年こどもの国牧場
牧場まつり



2022年ひたちなか市
産業交流フェア

自治体や容環協の会員企業などが各地域で開催している環境学習、紙パック回収、リサイクルなどのイベントを継続して支援しています。

【広報委員会】

対象層毎に入口を設けたホームページ（HP）の改訂



容環協HPを親しみやすい形に改訂しました。都度、ニュースや情報の更新を行い、Webを通じた情報の発信と啓発活動につとめています。また、セキュリティ強化のため、URLを「https」に更新しました。

【広報委員会】

自治体指定ごみ袋への広告掲載と市HPへのバナー掲載



羽村市



バナー広告



別ウィンドウで開く



三鷹市

広告 (広告について)



バナー広告
募集中

三鷹市役所

住所 〒181-8555 東京都三鷹市野崎一丁目1番1号
電話 0422-45-1151 (代表)
開庁時間 月曜～金曜午前8時30分～午後5時 (祝日、年末年始を除く)
法人番号 8000020132047 (法人番号について)



八王子市

自治体指定のごみ袋への広告掲載を継続し、市のHPへもバナーを貼って頂きました。市民の方々にとっても可燃ごみの量が減り、ごみ袋を買う費用を抑えられるメリットがあります。

【広報委員会】

WebやSNSを通じた紙パック回収やリサイクルの啓発



紙パックをリサイクルに出す女性 同僚の『ひと言』に、驚愕

公開：2022-02-24 提供：全国牛乳容器環境協議会
更新：2022-02-25 By - grape編集部



飲料に入れられる『紙パック』。牛乳やジュースなど幅広い飲料に使用されている容器のため、多くの人が自然に目にしているでしょう。



「知らなかった」「もったいない」 紙パックをリサイクルしていた女性 しかし…

公開：2022-06-06 提供：全国牛乳容器環境協議会
更新：2022-06-09 By - grape編集部



一人暮らしを始めると、自由が増える半面、家事も自分で行わなければなりません。

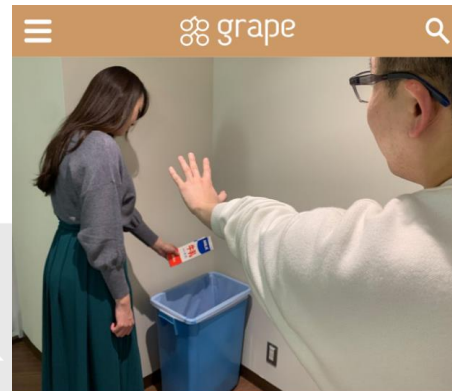


紙パックの開き方を教わった女性 早速試してみるが…？

公開：2022-09-28 提供：全国牛乳容器環境協議会
更新：2022-10-11 By - grape編集部



牛乳を始め、ジュースやお茶など、さまざまな飲料に利用されている紙パック。



ゴミ箱に紙パックを捨てようとした 女性 同僚に注意されると…？

公開：2022-12-27 提供：全国牛乳容器環境協議会
更新：2023-01-10 By - grape編集部



日常生活を過ごしていると、必ずさまざまなゴミが発生します。

第1弾
リサイクルの意義と必要性

2022年2月24日～

第2弾
正しい分別の方法

2022年6月6日～

第3弾
開き方と洗い方

2022年9月28日～

第4弾
再生紙工場の設備と工程

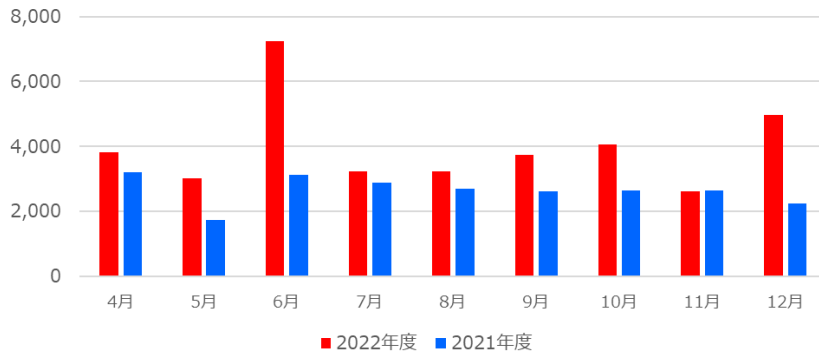
2022年12月27日～

WebやSNSを活用したタイアップ広告を通じて情報発信と啓発活動を行い、容環協HPへの誘導にもつなげています。2023年2月はこれらをまとめた特集ページを再公開しました。

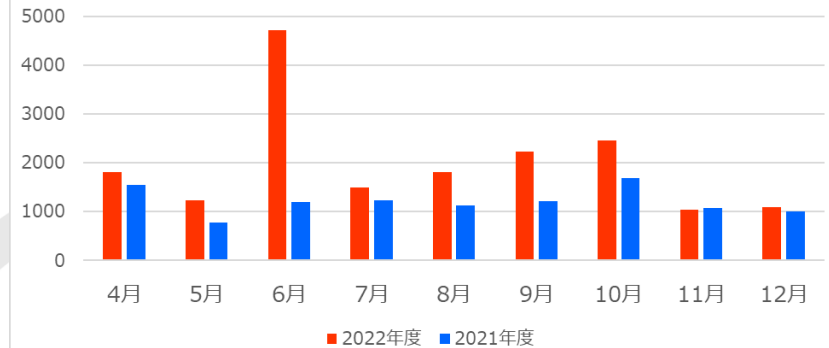
【広報委員会】

さまざまな広報活動を通じた容環協HPへの誘導

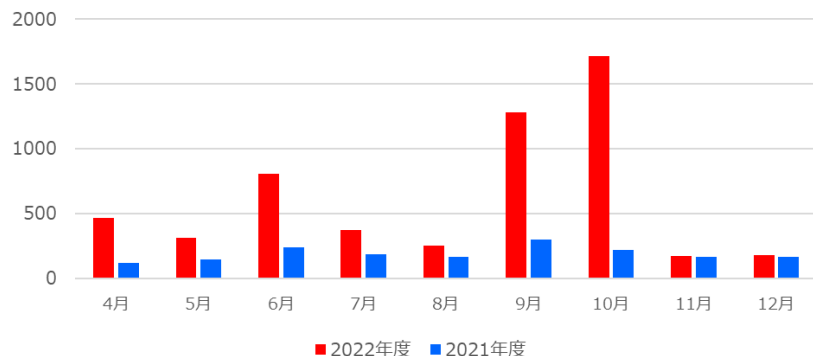
容環協HP訪問数



スマホ訪問数



手開き動画PV数



- 2月24日～ Web広告第1弾公開
- 6月 6日～ Web広告第2弾公開
- 9月28日～ Web広告第3弾公開
- 12月27日～ Web広告第4弾公開

HPへの改訂、Webを活用した啓発広告、各種啓発物へのQRコード貼付、エコプロの出展者ページからの誘導などを通じて容環協HPをご訪問頂き、情報を発信する取り組みを進めています。昨年度に比べてHPへのアクセス数は大きく伸びました。

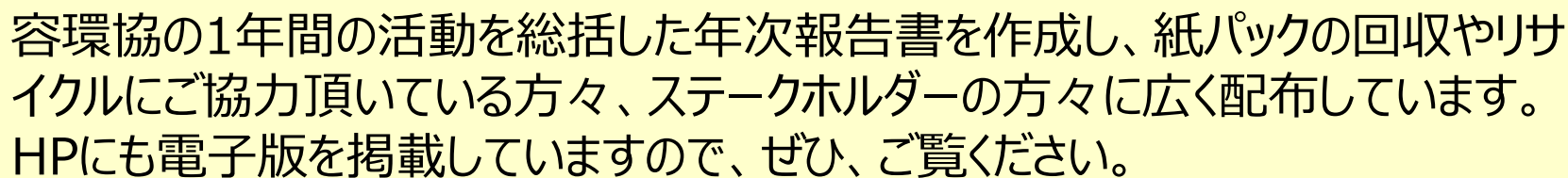
【広報委員会】

新たな啓発冊子の作成と配布



環境やSDGsの視点から、新たな啓発資料を作成しました。地球温暖化防止に貢献できる紙パックリサイクルのルール、紙パックの開き方をわかりやすく解説しています。小学生向けには、学習帳としても役立つ「紙パックで地球にやさしくNOTEBOOK」もあります。

年次報告書の編纂と発行



【イベント委員会】

SDGs Week EXPO エコプロ2022 出展

<総括>

東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展示会**エコプロ2022**へ出展。累計来場者数約61,500名のうち、**1,707名の方**に容環協ブースへお越し頂きました。パネルや動画での展示、専門委員の説明、啓発資料の配布などを通じて、「**紙パックのリサイクルは身近で手軽にできるSDGsへの取り組み**」であることを多くの方々にご理解頂きました。

<ブース展示と取組内容>

- ・ SDGsの視点で制作した新6枚パネルの掲示
- ・ 容環協が取り組んでいる活動の紹介
- ・ 2021年度紙パックの回収率の速報
- ・ 大型、中型、小型の計9台のモニターでのDVDや動画の放映
- ・ 牛乳紙パックで遊ぶ学ぶコンクール受賞作品の展示
- ・ 啓発資料やアメニティグッズの配布（ノート、冊子、ウェットティッシュ）

新たなパネルの作成と各種イベントでの掲示

牛乳パックン



【イベント委員会】

SDGs Week EXPO エコプロ2022 出展



エコプロ2022では1,707名の方に容環協ブースへお越し頂きました。パネル、動画、啓発資料などを通じて、多くの方々に、紙パックのリサイクルは身近で手軽にできるSDGsへの取り組みであることをご理解頂きました。

【イベント委員会】

第22回「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール2022」協賛

＜総括＞

- ・ コンクール実行委員会が主催し、文部科学省、農林水産省、環境省を始めとしたさまざまな公的機関や団体が後援する第22回「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール2022」に、本年度も継続して協賛しました。
- ・ 全国の小学生から寄せられた4,127点の作品から、10月13日の一次審査、11月8日最終審査によって、最優秀賞1点、優秀賞2点、各後援・協賛団体の冠賞4点の計7つの受賞作品を選出しました。
- ・ これらの作品を制作した児童とご家族の皆さまを東京・丸の内の会場に招き、12月24日に表彰式を開催し、作品の素晴らしさや工夫を称える手書きの賞状と、作者名と作品名が彫られたトロフィーを授与しました。
- ・ この取り組みは、次世代を担う子供たちの豊かな発想や創造力の健やかな育成、環境マインドやリサイクル意識の向上の双方に奏功しています。

【イベント委員会】

第22回「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール2022」協賛



最優秀賞作品

絵が変わる
ミルクecoポスター



省庁、公的機関、教育機関、乳業団体などに後援頂き、「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」を開催しました。全国の小学生から寄せられた4,127点の作品から、一次審査、最終審査を経て、受賞作品を選出し、作品を制作した児童とご家族の皆さまを招き、表彰式を行いました。

【イベント委員会】

小・中学校での出前授業への対応

<総括>

2021年度から川崎市環境局や川崎市の市民団体（3R推進プロジェクト、グリーンコンシューマーかわさき）と連携した授業を開始し、パネルと動画を使った新形態の授業も始めています。メディアで連日のように環境関連の情報が流されていることもあり、いずれの学校の皆さんもリサイクルへの興味が高く、積極的にご質問を頂き、従来以上に有意義な取り組みとなっています。日本全国の小中学校に対応できるよう、デジタル化にも取り組んでいます。

<実施実績>

- | | |
|---------------|----------------|
| ・川崎市立 下河原小学校 | 2022年 6月20日（月） |
| ・川崎市立 西御幸小学校 | 2022年 6月23日（木） |
| ・川崎市立 東橘中学校 | 2022年 7月 8日（金） |
| ・横浜市立 瀬谷第二小学校 | 2022年12月19日（月） |
| ・横浜市立 矢向小学校 | 2023年 1月19日（木） |

※ コロナ感染防止に細心の留意を払いながら、5校で実施しました。

【イベント委員会】

小中学校での出前授業への対応



川崎市環境局や川崎市の市民団体（3R推進プロジェクト、グリーンコンシューマーかわさき）と連携した授業、横浜市での授業を実施しました。いずれの学校の皆さんも環境やリサイクルへの興味が高く、積極的にご質問を頂き、従来以上に有意義な取り組みとなっています。

2022年度 紙パブリサイクル促進 意見交換会

2022年度 紙パブリサイクルにかかわる取組状況

ご清聴 ありがとうございました。

全国牛乳容器環境協議会

<https://www.yokankyo.jp/>

容環協HPは右のQRコードからもアクセスできます。
都度、新たな情報を載せています。是非、ご覧下さい。

